

様式 6

入札監視委員会定例会議議事概要（工事等）

開催日及び場所	令和4年10月6日(木) 本部事務機構本館第二会議室	
委員	委員長 山浦正井（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会会長） 委員 三輪佳久（弁護士） 委員 手島貴弘（公認会計士・税理士）	
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
抽出案件（合計）	7件/155件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議は無し。 「建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議」については、抽出案件に係る発注担当者が回答した。
工事（小計）	4件/123件	
一般競争 （政府調達協定対象工事）	0件/0件	
一般競争 （政府調達協定対象工事を除く）	3件/82件	
通常指名競争	0件/0件	
随意契約	1件/41件	
設計・コンサルティング業務 （小計）	3件/32件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	1件/7件	
一般競争入札	1件/5件	
随意契約方式	1件/20件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

質 問	回 答															
<p>1. 審議対象工事及び業務の抽出について (担当委員より説明)</p> <p>・特になし</p>																
<p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p><u>(1) 一般競争契約入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</u> 【(川内1他)災害復旧工事 (青葉山1他)災害復旧工事 (星陵)災害復旧工事】</p> <p>・工事の難易度を含め、概要を説明願いたい。また、契約から履行期限までの期間、参加資格、入札額の状態についても併せて説明願いたい。</p>	<p>・本工事は、令和3年2月に発生した地震で被害を受けた、川内1団地他2団地、青葉山1団地他3団地、星陵団地構内における内外部の復旧工事であり、3工事共に難易度は通常実施している一般的な工事と同等である。</p> <p>・川内1他、青葉山1他の参加資格は、文部科学省における建築一式工事に係るA又はB等級の一般競争参加資格の認定を受けていることとした。</p> <p>星陵団地の参加資格は、当初、「(星陵及び片平他)災害復旧工事」として「文部科学省における建築一式工事に係るA又はB等級の一般競争参加資格の認定を受けていること」とし公告を行ったが不落となった。</p> <p>そこで、「(星陵)災害復旧工事」と「(片平他)災害復旧工事」に工事範囲を分割するとともに「文部科学省における建築一式工事に係るA、B、C又はD等級の一般競争参加資格の認定を受けていること」と参加対象を拡大し再公告を行った。</p> <p>施工実績は、元請けとして、平成18年度以降に完成・引渡しを行った庁舎、校舎、教育施設、研究施設又は診療施設の新営又は改修の建築工事の実績があることとした。</p> <p>経常建設共同企業体においては、構成員のうち1社が上記の施工実績を有することとした。</p> <p>・各者入札金額 (川内1他)</p> <table border="1" data-bbox="639 1877 1461 2063"> <thead> <tr> <th>入札者名</th> <th>評価点 (A)</th> <th>第1回入札価格 (円)(B)</th> <th>評価値 (A/B ×1億)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一建設工業(株)</td> <td>108.000</td> <td>114,880,000</td> <td>94.0111</td> <td>落札</td> </tr> <tr> <td>(株)ビルド</td> <td>112.000</td> <td>198,000,000</td> <td>56.5656</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	入札者名	評価点 (A)	第1回入札価格 (円)(B)	評価値 (A/B ×1億)	結果	第一建設工業(株)	108.000	114,880,000	94.0111	落札	(株)ビルド	112.000	198,000,000	56.5656	
入札者名	評価点 (A)	第1回入札価格 (円)(B)	評価値 (A/B ×1億)	結果												
第一建設工業(株)	108.000	114,880,000	94.0111	落札												
(株)ビルド	112.000	198,000,000	56.5656													

鷹嘴建設(株)		辞退		
大豊建設(株)		辞退		
菱中建設(株)		辞退		

- ・ 予定価格（入札書比較価格） 148,400,000 円
- ・ 調査基準価格 133,793,633 円
- ・ 基準評価値（×1 億） 67.3854
- ・ 落札率 77.41%

第一建設工業(株)に決定

契約月日：令和 3 年 8 月 2 0 日
 履行期限：令和 4 年 3 月 3 1 日

(青葉山 1 他)

入札者名	評価点 (A)	第 1 回入札価格 (円) (B)	評価値 (A/B × 1 億)	結果
鷹嘴建設(株)	124.000	280,000,000	44.2857	落札
菱中建設(株)	122.000	315,000,000	38.7301	
第一建設工業(株)	108.000	288,000,000	37.5000	
(株)ビルド	112.000	380,000,000	29.4736	
大豊建設(株)		辞退		

- ・ 予定価格（入札書比較価格） 290,040,000 円
- ・ 調査基準価格 264,503,129 円
- ・ 基準評価値（×1 億） 34.478
- ・ 落札率 96.54%

鷹嘴建設(株)に決定

契約月日：令和 3 年 8 月 6 日
 履行期限：令和 4 年 3 月 3 1 日

(星陵)

入札者名	評価点 (A)	第 1 回入 札価格 (円) (B)	第 2 回入 札価格 (円) (C)	評価値 (A/C×1 億)	見積価格 (円)	結果
第一建設工業(株)	108.000	145,200,000	140,700,000	76.7590	115,600,000	落札
(株)千葉工務店	107.000	172,244,226	145,195,000	73.6939		

- ・ 予定価格（入札書比較価格） 115,850,000 円
- ・ 調査基準価格 105,064,354 円
- ・ 基準評価値（×1 億） 86.3185
- ・ 落札率 99.78%

第一建設工業(株)に決定

契約月日：令和 3 年 1 0 月 5 日
 履行期限：令和 4 年 3 月 3 1 日

<p>・川内地区とそれ以外の地区の落札率の違いの原因を説明願いたい。</p> <p>・全体の状況について、不調・不落が20件、低入札が21件発生しており、要因等を説明願いたい。</p> <p>・星陵地区と片平地区は再公告の際に参加資格を拡大し、さらに工事範囲を分割したとのことだが、星陵地区、片平地区の参加業者の等級を説明願いたい。</p> <p>・参加申請をした業者が辞退する理由を説明願いたい。</p>	<p>・川内団地は、業者に聞き取りを行ったところ、「本社等での集中購買により資材を安価に仕入れることができること」、「年間契約による仮設材費の低減が可能であること」及び「市内の事業所活用による諸経費の低減が可能であること」の理由に加えて受注意欲が高いことより、この金額で入札をしたとのことであった。</p> <p>星陵団地は、病院内での工事が大半を占めており、新型コロナウイルス感染症対策について他キャンパスに比べ制約が多い中での施工となるため、事業者がリスクを価格に転嫁したことにより入札金額が予定価格を上回ったものと推測される。その結果不落となり不随契を行ったため契約率が高くなった。</p> <p>青葉山団地は、川内団地や星陵団地のような特殊要因がないため、90%台後半の契約率となったと推測される。</p> <p>・最新の国の統一基準に基づいて積算を行い、業者へのヒアリング・市場調査や図面をわかりやすく作成するなどの工夫によって不調不落、低入札が起こらないように努めている。</p> <p>しかし、他の工事と共通して資材を購入する等の企業努力によって大きく価格を下げてくる場合や業者の受注意欲、技術者の確保状況により不調不落、低入札が発生すると推測している。</p> <p>・星陵はA等級とC等級が1社ずつ参加、片平はA等級とB等級が2社ずつ参加した。</p> <p>・参加申請時には1人の技術者を複数の工事に申請できるが、入札までに他の工事が決まるなどで辞退となることがある。</p>
<p>(2) 随意契約方式</p> <p>【サイバーサイエンスセンター自動火災報知設備更新工事】</p> <p>・工事の難易度を含め、概要を説明願いたい。また、契約から履行期限までの期間についても説明願いたい。</p>	<p>・本工事は、設置から27年が経過し、経年劣化が進んだサイバーサイエンスセンター本館の自動火災報知設備の更新工事である。</p> <p>本工事で更新した火災受信盤や中継器等の自動火災報知設備と既存の消防用防火水設備、防火扉及び防火警報器等を、連動させる必要があり、それぞれメーカーが異なる設備であるため、比較的難易度は高い工事となる。</p>

	見積者名	第1回
	能美防災(株)	4,540,000
<p>・見積徴取業者の選定基準を説明願いたい。</p> <p>・設備更新前のメーカーと更新後のメーカー、及び各社が提案した設備のメーカーを説明願いたい。</p> <p>・更新前のメーカーを扱う業者は何故辞退したのか教えていただきたい。</p> <p>・予定価格の参考見積は何社から徴取したか教えていただきたい。</p>	ニッタン(株)	5,975,000
	住友電設(株)	9,900,000
	ホーチキ(株)	辞退
	ヤマトプロテック(株)	辞退
	・予定価格（見積書比較価格） 4,540,000円	
	能美防災(株)に決定	
	契約月日：令和 3年10月 7日	
	履行期限：令和 4年 3月31日	
	・文科省の競争参加資格者情報一覧に工種が消防施設工事で登録されている業者の中から、本学と取引がある業者、既存の設備メーカー、仙台市内に本店または支店・営業所・事業所等関連拠点があり、不具合が生じた場合は速やかに現地調査等必要な調査・修理を行える業者を選定した。	
	更新前のメーカー	ホーチキ(株)製
	更新後のメーカー	能美防災(株)製
	各社が提案したメーカー	能美防災(株)製 住友電設(株)製 ニッタン(株)製
	・更新前のメーカーは27年前に防災設備を設置しているが、その後の点検は、別の業者が保守点検（全学部の防災設備を一括して契約）を行っていることから、現在の設置状況等を把握しておらず受注意欲が低かったと聞いている。	
	・3者から見積書を徴取した。	
<p><u>(3) 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</u></p> <p>【(青葉山3) 放射光研究拠点施設新営設計業務】</p> <p>・設計の難易度を含め、設計および契約の概要を説明願いたい。また、契約から履行期限までの期間、入札資格設定、プロポーザル評価の状況</p>	<p>・本業務は、青葉山3団地内における放射光研究拠点施設（RC造、地上4階建、延床面積約4,000㎡）の新営工事に伴う建築実施設計業務である。構造に免震を含む業務であるが、難易度は通常実施している一般的な設計業務と同等であ</p>	

について評価結果等を示しつつ説明
願いたい。

る。

本件の参加資格は、文部科学省における令和3・4年度設計・コンサルティング業務「建築（設計・施工管理）」に係る一般競争（指名競争）の参加資格の認定を受けていることとした。

求める実績は、平成17年度以降に完成・引渡しが完了した建築物（新営）の設計業務で次の条件を満たしていることとした。

同種業務として「地上2階建以上かつ延べ面積2,000㎡以上の研究施設の設計業務」の実績を有していること。

類似業務として「地上2階建以上かつ延べ面積2,000㎡以上の庁舎、校舎、教育施設又は診療施設の設計業務」の実績を有していること。

本業務を委託するに当たり、簡易公募型プロポーザル方式により令和3年3月4日付け公示を行い、(株)エーシーエ設計、パシフィックコンサルタンツ(株)の2者から参加表明書の提出があった。

建設コンサルタント選定委員会（以下、選定委員会という。）において、技術提案書の提出を求める者を選定するため、『1. 技術提案書の提出者の能力』、『2. 担当予定技術者の能力』について審議を行い、2者双方を選定し、技術提案書の提出を求めることとした。

その後、両者から技術提案書の提出を受け、選定委員会において、『3. 業務の実施方針』、『4. 課題についての提案』について審議を行った。

その結果、優れた提案を行い高い評価を得た(株)エーシーエ設計を、本業務を遂行できる唯一の委託業者として特定した。

・プロポーザルの評価状況については、プロポーザルの審査結果を説明した。

見積者名	第1回(円)	第2回(円)	第3回(円)	第4回(円)
(株)エーシーエ設計	62,800,000	53,800,000	45,400,000	45,200,000

・ 予定価格（見積書比較価格） 45,215,000円

(株)エーシーエ設計に決定

契約月日：令和 3年 5月 11日

履行期限：令和 4年 3月 31日

・ 選定委員会の構成人数を教えてください。

・ 選定にあたって評価点の最低基準はあるか教えてください。

・ 予定価格の算出方法を教えてください。

・ 選定委員会は、5名で構成している。

・ 最低基準はないが、本学が求めている条件を満たしていない場合には参加資格無しとなる。

・ 基本業務部分は国の統一基準に基づき積算しており、付加業務部分は参考見積を徴取して積算している。

(4) 一般競争契約

【(青葉山3) 青葉山ユニバース新
営設計業務】

・業務および契約の概要を説明願いたい。また、契約から履行期限までの期間、参加資格設定についても併せて説明願いたい。

・本業務は、青葉山3団地内における青葉山ユニバース（RC造、地上4階建、延床面積約4,000㎡）の新営に伴う建築実施設計業務である。

入札資格は、文部科学省における令和3・4年度設計・コンサルティング業務の一般競争参加資格「建築（設計・施工管理）」の認定を受けていること。

平成18年度以降に、元請けとして設計完了した地上2階建て以上かつ延べ面積2,000㎡以上の大学研究施設の実実施設計の実績を有すること。さらに、免震構造建物（用途・規模を問わない）の実実施設計の実績を有することである。

・各者入札金額

入札者名	第1回（円）
(株)エーシーエ設計	21,800,000
(株)佐藤総合計画	39,000,000
(株)内藤建築事務所	41,900,000
(株)大建設計	60,000,000
(株)都市環境設計	78,000,000
(株)日総建	80,000,000
(株)綜企画設計	85,000,000

・予定価格（入札書比較価格） 31,608,000円

(株)エーシーエ設計に決定。

契約月日：令和 4年 3月22日

履行期限：令和 4年10月31日

・新営設計（実施設計）だが、簡易公募型プロポーザル方式ではなく、一般競争契約を適用した理由と、簡易公募型プロポーザル方式よりも落札率が低くなる要因を説明願いたい。

・青葉山ユニバースは、北隣に計画している「東北大学（青葉山3）放射光研究拠点施設」と同規模、同用途とする計画である。そのため、基本構造及び建物仕様を共通化する目的で、「（青葉山3）放射光研究拠点施設新営に係る設計業務」の実実施設計図、参考数量表、構造計算書、単価根拠及び行政手続き資料等を貸与し活用してもらうこととした。本業務は、それらを利用しつつ敷地形質や研究内容等に対応させた設計を行う業務となることから、技術提案の要素が少ないため簡易公募型プロポーザル方式ではなく、一般競争契約を適用した。

プロポーザル方式は、事業者から提出される技術提案により優秀提案者（1者）を特定し、その者と見積合わせを行うことで契約金額が決まる方式であるのに対し、一般競争落札方式は、価格競争で契約金額が決まる方式である。

<ul style="list-style-type: none"> ・（青葉山3）放射光研究拠点施設との違いを説明願いたい。 ・受注者へ図面を貸すことが前提となっている契約であるが、放射光研究拠点施設の設計業者から許可を得ているのか。 ・（青葉山3）放射光研究拠点施設の履行期限は令和4年3月31日であり、本業務の契約日（3月22日）より後だが、履行期限より前に履行されているのか。 	<p>一般競争落札方式を適用した本設計業務については、複数者による価格の競争原理が働いたことにより落札率が低くなったと推測される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱や梁の基本構造は同じだが、建物内で行われる研究内容が違うので、部屋割りや設備が異なっている。 ・公告前に使用の許可を得ている。 ・行政手続き等に時間を要するが、図面自体は早い段階できている。 				
<p><u>（5）随意契約方式</u></p> <p>【（飛驒）ニュートリノ科学研究センター神岡鉱山内地質調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事概要を説明願いたい。また、契約から履行期限までの期間についても説明願いたい。 ・契約事務取扱細則第40条1号（随意契約によることができる場合「契約の性質又は目的が競争を許さないとき」）を適用すべき具体的事情について説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、神岡鉱山茂住坑内において建設を予定している「ニュートリノ研究施設大型地下実験空洞」の建設候補地として岩質的に適しているかを判断するとともに、建設費用の概算を算出するための調査業務である。 <table border="1" data-bbox="694 1323 1217 1429"> <thead> <tr> <th>見積者名</th> <th>第1回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三井金属資源開発(株)</td> <td>13,630,000</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格（見積書比較価格） 13,704,000円 <p>契約月日：令和 3年12月 8日 履行期限：令和 4年 3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本調査業務の実施場所は、神岡鉱業(株)が所有する鉱山内であり、調査地である神岡鉱山茂住坑内は、「鉱山保安法」に基づき、鉱業権者である神岡鉱業(株)によって厳重に管理されている区域である。 調査業務を行うにあたり、同社と協議を行ったところ、当該区域内は鉱山保安法に基づき、鉱業権者の管理下において、「人に対する危害の防止」、「鉱物資源の保護」、「鉱山の施設の保全」及び「鉱害の防止」等の保安管理を行う必要があるため、「指定業者（三井金属資源開発(株)）により実施すること」の条件付きで許可を受けたものである。 以上のことから、三井金属資源開発(株)が本業務の遂行が可能な 	見積者名	第1回	三井金属資源開発(株)	13,630,000
見積者名	第1回				
三井金属資源開発(株)	13,630,000				

<p>・坑内の地質調査を行い、坑道を拡大するのか。</p>	<p>唯一の業者であるとして随意契約を行ったものである。</p> <p>・坑道の拡大は行わず、現在の坑道の中に施設を作ること考えている。</p>
-------------------------------	--